

2025年3月11日

**青木あすなろ建設の温室効果ガス排出量削減目標が
SBT 認定を取得しました**

青木あすなろ建設株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：辻井 靖）は、当社の設定した温室効果ガス排出量^{*1)}削減目標について、国際的なイニシアチブ「SBT (Science Based Targets)」^{*2)}の認定を取得しました。

当社は、脱炭素社会の実現に貢献するべく、2034年度までの温室効果ガス排出量削減の数値目標として、以下を設定しました。具体的な削減活動として、低炭素材料の調査・研究開発および活用促進を行うとともに、当社の設計施工案件につきましてはZEB化の提案を推進しております。

- 「Scope1, 2」において2023年度比で1.5℃水準となる58.8%削減
- 「Scope3」のうちカテゴリ1（購入した製品・サービス）およびカテゴリ11（販売した製品の使用）において2023年度比でWB2℃^{*3)}水準となる35.0%削減



【参考】

*1) 温室効果ガス排出量（サプライチェーン排出量）

Scope1：自社における直接排出（燃料など）

Scope2：自社が使用したエネルギー起源の間接排出（電力など）

Scope3：自社事業の活動に関連する他社の排出（上流、下流）

参考 URL：[環境省「グリーン・バリューチェーンプラットフォーム」サプライチェーン排出量全般より](#)

*2) SBT：カーボンニュートラルの取組みに対応する認定制度であり、パリ協定が求める水準と整合した、企業が設定する温室効果ガス排出量の削減目標を認定機関（事務局：イギリス）が認めたものです。

参考 URL：[環境省「グリーン・バリューチェーンプラットフォーム」SBT 詳細資料より](#)

*3) WB2℃：「Well-Below 2℃」の略で、パリ協定で定められた目標の一つです。産業革命前からの世界の平均気温上昇幅を2℃より十分下回る水準に抑えることを意味します。